

知ろう、守ろう！ 沼津の生きもの



～長井崎版～



～長井崎周辺で特徴的な生き物～



クサスギカズラ
(クサスギカズラ科)
長浜城跡の岩場に2株だけ
生えています。海岸の岩場
に生育する種です。



ホソバハマアカザ
(ヒユ科)
長浜城跡の岩場に数株あり
ます。静岡県レッドデー
タブックでは要注目種とされ
ています。



アカテガニ
(ベンケイガニ科)
長井崎周辺の所々で見られ
ます。夏の大潮の夜に雌は
海岸で幼生を放出します。



カクベンケイガニ
(ベンケイガニ科)
アカテガニより海岸側の陸
上で見られます。はさみは
赤くなく、甲羅が四角です。



ミサゴ
(ミサゴ科)
長井崎周辺の海上でまれに
見られます。魚を捕まえて
食べます。



オオタカ
(タカ科)
長井崎周辺で冬になると見
られます。ヒヨドリやハト
などの鳥類を捕えます。

特定外来生物

もともとその場所にいなかった生きもので、人間によって持ち込まれたものを「外来生物」といいます。その中でも、生態系などに被害を及ぼすため、特に注意が必要なものを「特定外来生物」といいます。

今回の調査で、長井崎周辺では鳥類の「ガビチョウ」と「ソウシチョウ」が確認されました。これらは、日本に昔から住むウグイスやヤブサメなどのえさやすみかを奪ってしまう恐れがあります。

他にも、身近な生きものであるミシシippアカミミガメやアメリカザリガニが「条件付特定外来生物」とされていて、飼うことはできてもその後放すことや逃がすことはできません。捕まえても持ち帰らないようにしましょう。



ガビチョウ (チメドリ科)



ソウシチョウ (チメドリ科)



ミシシippアカミミガメ
通称：ミドリガメ (ヌマガメ科)



アメリカザリガニ
(アメリカザリガニ科)

出典：「最新日本の外来生物」
一般財団法人自然環境研究センター編著 2019年

出典：「最新日本の外来生物」
一般財団法人自然環境研究センター編著 2019年

外来生物の被害を防止するために、

- ①「入れない」 外来種を日本に入れない。
- ②「捨てない」 ペットや観葉植物などの外来種を捨てない、逃がさない、放さない。
- ③「拡げない」 すでに野外にいる外来種をほかの地域に拡げない。



～長井崎・長浜城跡～

長井崎は駿河湾越しの富士山を望める風光明媚な岬で、その東には北条水軍（戦国時代）の拠点である長浜城跡が位置しています。周辺では四季を通じて海と山の様々な生き物を観察することができます。



Proud NUMAZU
～気づく環境・築く未来～

2024年3月 沼津市 環境政策課 Tel:055-934-4740

編集・デザイン：株式会社自然環境リサーチ

生きものを探してみよう

長井崎

長井崎の頂上付近には学校やみかん畑、斜面には広葉樹林があります。農地周辺でよく見られる生き物や海岸性の生き物が見られます。



タブノキ

近海性の常緑樹で林をつくります。



マサキ

海岸性の常緑樹で、実は食べられません。



ウミネコ

脚が黄色で尾の先が黒いです。一年中群れて見られます。



メジロ

眼のまわりが白いです。林や農地でよく見られます。



アゲハ

黒と黄色のシマシマ模様が特徴的で、身近に見られる大きな蝶です。



アオドウガネ

緑色でおしりに毛があります。夜に活動します。



ハコネウツギ

海岸性の低木で、きれいな花を咲かせます。



カワラタケ

倒木などに着くキノコで、乾かすと薬用になります。



セグロカモメ

脚がピンク色で、尾の先に黒はないです。主に冬に見られます。



イソヒヨドリ

オスは青とレンガ色をしていて、きれいな声で鳴きます。



ウラナミシジミ

はねの裏側がさざなみ模様の小さな蝶です。



ニホンミツバチ

日本に自生している野生のミツバチで、体全体が黒っぽいです。



モズ

農地で見られます。餌を枝先に刺すはやにえをします。



ホオジロ

眼の上とほおが白いです。農地や草地で見られます。



シロオビノメイガ

白い線のあるがで、幼虫は農作物を食べます。



ヒカリギセル

林内の倒木の隙間など薄暗く湿った場所に生息し、光沢があります。



環境イメージキャラクター 沼環 ミライちゃん

エコぱっくん

※掲載している生きものは、2023～2024年に現地で確認されたもので、長井崎の生きものすべてではありません。

長浜城跡

長浜城跡の斜面には広葉樹林が広がり、海岸では伊豆特有の生き物が見られます。



ヒトツバ

岩や木の幹に着生するシダで、葉の裏は褐色です。



モンキゴミムシダマシ

主にキノコを食べる小さな甲虫です。



クスノキ

葉をちぎるとツンとした香りがします。



トビ

よく見られる鳥で「ピーヒョロロ」という特徴的な鳴き声をする。



キクバナイグチ

傘表面がひび割れた様子で柄がワイン色です。



オカダトカゲ

伊豆とその周辺特有のトカゲですが、多く見られます。

長井崎北側の海岸

長井崎北側には砂浜の海岸があり、内浦湾の様々な生き物が見られます。



カサゴ

沿岸の岩礁域に生息します。釣りの対象で美味です。



ゴンズイ

ナマズの仲間です。群れをつくり、とげには毒があります。



ヒズラガイ

潮間帯の岩礁で見られます。岩に付いてじっとしています。



カメノテ

フジツボに近い仲間、岩のさげ目などで群生します。



クロホシシモチ

沿岸の岩礁域に生息します。頭に1対の黒点があります。



キュウセン幼魚

岩礁まわりや転石の砂底にすみ、潜って冬眠します。



オオヘビガイ

岩盤に付着した巻貝で殻を巻きながら上に伸ばします。



イワガニ

岩礁域にすみ、干潮時に活動します。甲羅に横縞があります。



チョウチョウオ幼魚

幼魚は浅い水域で成長します。きれいな模様の魚です。



ドロメ

潮だまりに生息します。口が大きく、吸盤があります。



ビゼンクラゲ

大型のクラゲで、触手に毒はなく、食用となります。



ムラサキウニ

濃い紫色で海藻を主な餌とし、食用となります。